



農業簿記 V6 プログラムアップデート

2005/03/16

日頃は農業簿記 V6をご利用いただきまして誠にありがとうございます。
農業簿記 V6にて不具合があり、ユーザ様にご迷惑をおかけして大変申し訳ございませんでした。

本プログラムアップデートを行うといくつかの不具合が解決されますので、最新版をダウンロードしていただくようにお願いします。

(修正項目の一覧は 3 頁目以降にあります。詳細は別途文書をご覧ください)
引き続き、農業簿記 V6をご利用いただけますようお願い申し上げます。

【注意】

このアップデートプログラムを行える製品は農業簿記 V6

バージョン 6.01.00」です。

バージョンは製品のメニュー[ヘルプ]-[バージョン情報]にてご覧いただけます。
お間違いのないようお願いいたします。

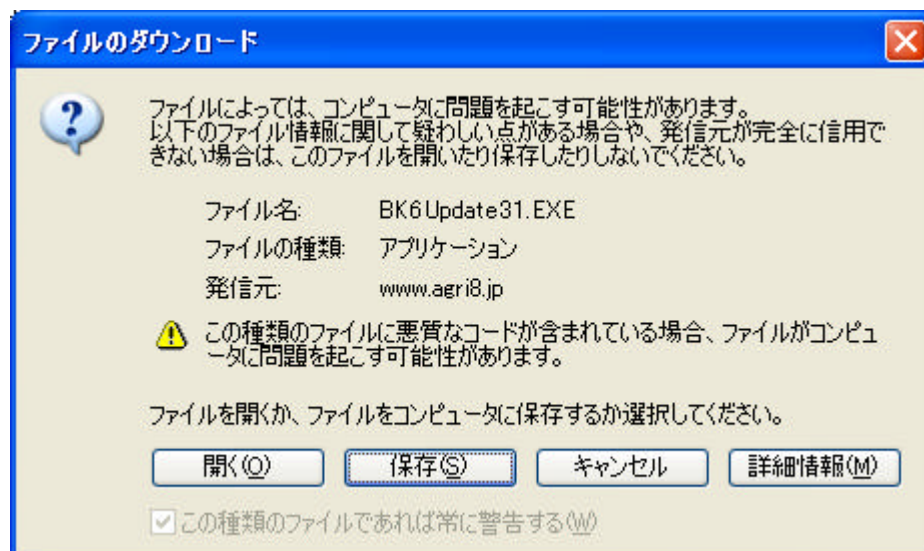
(他のバージョンをお使いの方は絶対アップデートしないで下さい。)

6.02.00 以降をお使いの方は本アップデートプログラムは必要ありません。

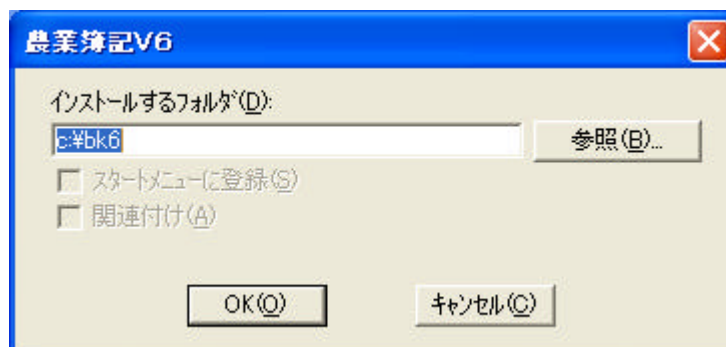
アップデートプログラムをお使いのパソコンの任意のフォルダにダウンロードしてください。

ダウンロード後、以下の方法によりインストールしてください。

1. 農業簿記 V6 が動作している場合は一旦終了させてください。
2. ダウンロードボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。
「このプログラムをディスクに保存する」を指定し、例えば、「C:¥」に保存します。



3. ダウンロードしたプログラム (BK6Update31.EXE) を実行すると以下の画面が表示されます。
農業簿記 V6 がインストールされてるフォルダを指定し、OKボタンをクリックしてください。



4. これで終了です。

解決される不具合 変更点

- 各仕訳入力処理にて、内税の場合の処理方法を一部見直し。
- 各帳簿入力の処理にて、消費税申告区分は免税なのに仕訳に消費税処理方法と税率が設定される場合がある。
- 不動産収入管理で前受金の仕訳を作成し次年度更新を行うと、会計期間に関係なく常に1月1日の伝票日付で前受金→賃貸料へ振り替える仕訳が作成される。
- 家事関連費計算表にて、転送される仕訳の貸方の消費税区分が常に「0:不課税」になっていた。
- 会計期間が1年未満の場合、不動産収入管理の仕訳転送で会計期間外の仕訳が作成されるなどの不具合がある。
- 消費税集計一覧表にて、不課税表示チェックボックスと画面の表示が一致しない場合がある。
- 簡易振替伝票入力にて、カーソルが消えてキーボード操作ができなくなる場合がある。
- ・1:nの振替伝票で1側に消費税がつかない仕訳を出納帳や元帳で表示した場合に相手科目が「諸口」で表示される場合がある。
- 減価償却資産登録の検索で増加資産全表示を選択すると該当しない資産まで表示される場合がある。
- 減価償却資産登録で資産コードを大文字・小文字を変えて登録できない。
- 物件登録にて減価償却資産の登録を行う際に法定残存率と限度残存率の初期値が0%で表示される。
- 減価償却資産集計表の検索にて該当しない資産が表示される場合がある。
- 育成資産管理にて平均欄の移動時価格が誤っている場合がある。
- 青色申告決算書(不動産所得用)の印刷で余分な帳票が出力される場合がある。
- 振替伝票入力にて、非課税仕訳を課税仕訳に変更した際に税処理方法が自動表示されない場合がある。
- 各帳簿入力処理にて、借方に消費税区分が設定されていると消費税処理方法を変更した際に仕訳の金額が変わる場合がある。
- 仕訳日記帳の上に勘定科目設定などを開いて変更を行い、再び仕訳日記帳に戻ってきたときにエラーが発生する場合がある。
- 元帳にて、貸借に同じ科目が設定されている仕訳を表示すると、借方金額/貸方金額が正しくない場合がある。
- 手形管理にて検索条件に「金額」または「銀行」を指定するとエラーが発生し検索が行えない。
- 家事関連費計算表の仕訳転送にて、転送される仕訳の消費税率が3%に設定されている。
- 同じ日付の伝票が複数あった時、振替伝票の更新をすると伝票の順序が変わってしまう。

- ・消費税申告書作成にて、原則課税で還付がある場合に地方消費税の還付額の端数計算が四捨五入になっている。
- ・消費税申告書作成にて簡易課税 (OCR 用紙)印刷に誤りがある。
- ・消費税申告書作成にて、中間納付している場合に税務署から送付された住所等が印刷されている OCR 用紙を使用すると、中間納付税額、及び中間納付譲渡割額が重ね打ちされてしまう
- ・データ作成で作られる勘定科目の課税区分の初期値に誤りがある。
- ・青色申告決算書入力にて「棚卸表から転送」を行ったのち、青色申告決算書を印刷すると文字化けを起こす場合がある。
- ・青色申告決算書の OCR 用紙への印刷で出力位置がずれている項目がある。
- ・青色申告決算書 (不動産用)の A4 よこ印刷にて、賃貸料が変更された賃借人の月額欄の印字が正しくない。
- ・特定データにて青色申告決算書入力 (農業用)でアプリケーションエラーが発生する場合がある。
- ・青色申告決算書入力 (農業用)の「農産物以外の棚卸高の内訳」で棚卸表から転送を行うと誤った金額が取り込まれる場合がある。
- ・仕訳データ合算にて「データソースの選択」ダイアログが表示される場合がある。
- ・勘定科目「226 :育成中の果樹牛馬」が有形固定資産として作成される。
- ・育成資産管理の「売却(販売)事由」が空欄で表示される場合がある。
- ・減価償却一括振替にて、科目の一覧に一部の勘定科目しか表示されない。
- ・棚卸集計表から仕訳転送を行った際に小数点以下の金額を含んだ仕訳が作成される場合がある。
- ・不動産収入管理の印刷に仕訳転送した結果が反映されない場合がある。
- ・不動産収入管理の仕訳転送で前受金の仕訳を作成すると次年度更新に失敗する場合がある。
- ・ヘルプの誤字脱字、記載ミスを修正。
- ・不動産収入管理の「複数月の家賃を一括納入」を変更するとアプリケーションエラーが発生する場合がある。
- ・収支内訳書 (農業所得用)の OCR 用紙に科目名称が 1行ずれて印刷される。
- ・仕訳データ受入にて仕訳に共通部門が設定されない場合がある。
- ・消費税申告書作成にて、原則課税で確定申告時に中間納付譲渡割額を入力するとそれ以外の欄にも出力される。
- ・農業経営簿記 Ver.5 プラスからデータをコンバート場合に、不動産収入管理の金額が正しくない場合がある。
- ・不動産収入管理の「不動産収入の内訳」の印刷で出力結果が正しくない場合がある。
- ・来年度までまたがる賃貸料の仕訳転送を行うと、前受金となる仕訳の金額が正しくない場合がある。
- ・減価償却資産登録にて資産区分を非償却資産に変更した場合の処理に不備がある。
- ・減価償却費仕訳転送にて必要な科目に「マーク」が表示されない場合がある。

- ・特定手順で減価償却資産登録・減価償却費仕訳転送を行うと仕訳が作成されない資産がある。
- ・非償却資産の仕訳転送で不正な仕訳が作成される場合がある。
- ・減価償却資産集計表にて印刷結果が正しくない場合がある。
- ・収支内訳書入力(農業用)の事業専従者タブにて、「□.専従者控除額」が正しく計算されない。
- ・比率表を用いて育成費用を計算する育成資産にて、1頭当たりの育成費用が少なく計算される場合がある。
- ・育成資産登録修正ダイアログにて計算育成費が正しく表示されない場合がある。
- ・育成資産の登録状況を変更した際に、変更前の情報が残っている項目がある。
- ・不動産収入管理にて複数月指定を行った際に、指定可能な月なのにエラーが表示されて複数月指定ができない場合がある。
- ・不動産収入管理にて会計期間が1/1～12/31以外の場合に、指定された開始月以外から賃貸料月額2が適用される場合がある。
- ・不動産収入仕訳転送にて補助科目ドロップダウンリストに「指定なし」が表示される。
- ・ダイアログ終了時に農業簿記V6のウィンドウがアクティブにならない場合がある。
- ・「共通部門の配分」を行っていない場合に表示されるエラーメッセージの内容に誤りがある。
- ・青色申告決算書/収支内訳書の「不動産所得の収入の内訳」に消費税込みの金額が計上される。